

2024年度

# ボランティア ガイドブック



西南学院大学ボランティアセンター

## 西南学院 建学の精神

“Seinan, Be True to Christ”  
(西南よ、キリストに忠実なれ)

創立者 C.K.ドージャー



## 2024 年度 学院聖句

平和を実現する人々は、幸いである、  
その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書 5章9節 (新共同訳)

# 目 次

---

## はじめに

ボランティアセンター長挨拶	2
ボランティアセンター（通称：ボラセン）とは？	3
ボランティアって、なんだろう？	4
ボランティア活動の心構え	5
ボランティア活動の探し方	6
ボランティア活動保険について	8
外部団体との連携協定	9

## 主なボランティア活動の紹介

① 災害ボランティア	10
② 国際協力ボランティア	13
③ 教育ボランティア	18
④ 福祉ボランティア	20
⑤ 環境ボランティア	23
学外ボランティア	25
学内ボランティア	26
参加者からの一言メッセージ	28

## 学生ボランティア団体（サークル）紹介

(1) OPEN（ボランティアセンター学生スタッフ）	30
(2) ワークキャンプ部	32
(3) SIEC（西南国際教育協力隊）	32
(4) Think & Act	33
(5) 手話サークル とびうめ	33
(6) のびっこの会	34
(7) Pao	34
活動室使用・物品借用について	35

## はじめに

～ボランティアセンター長挨拶～



ボランティアセンター長 石森 久広

西南学院大学で皆さんと出会えたことに感謝し、皆さんお一人おひとりの学生生活が、いろいろな人との出会いや、さまざまな経験を通して、有意義で実りある豊かなものになりますよう、心からお祈りしています。

本学の建学の精神は、「西南よ、キリストに忠実なれ」です。また、本学の教育方針の一つに、「奉仕の精神をもって社会に貢献する人を育てる」があります。私たち教職員は、学生の皆さんを、他者の立場に立ってその人にやさしく寄り添える人、また、そのような気持ちをもって社会に貢献できる人に育て、社会に送り出したいと考えています。本学においてボランティア活動は、それを実現するための一つの有力な取組みとして位置づけられ、学生の皆さんの活動を支援・推進する部署として、キリスト教活動支援課の中にボランティアセンターが置かれています。

ボランティア活動は、力を必要としている人に、少し力に余裕のある人が、その力を貸すという行為です。活動してみると、「力を貸すことで相手が喜んでくれた」「喜んでくれたことに喜びを感じた」「もっと喜んでもらうためにもっと力をつけたいと思った」といった体験を得られるでしょう。最初の動機は「困っている人を助けたい」「困っている人の役に立ちたい」が多いかもしれません。しかし、活動の成果は、困っている人が助けられることだけにとどまりません。活動した人自身にも、「自分を変えることができた」「新しい視点を持つことができた」「当たり前だと思っていたことが当たり前ではなかったことに気づいた」などなど、大きな学び、成長をもたらしてくれます。

皆さんは、教室で専門的知識・能力を身に付けます。しかし、これをどう使えば社会に役立つかを学ぶ場面は手薄です。学んだ知識・能力をどう使えば世の中の人に喜んでもらえるか、喜んでもらうためには何をどう学んだらよいか、ボランティア活動の経験が、大学で学ぶ意義を改めて見つめ直す契機にもなってくれればと願わずにはいられません。

本学においては、多くの学生たちが、被災地支援・海外ボランティア・学生サポーターといったチャンネルを通し、子育て・教育・福祉・環境・国際交流など、幅広い分野で活動を展開しています。そこには、同じ年代だけでなく、乳児から高齢者まで多くの人たちとの出会いや、個人だけでなく地域・行政・企業などとの交流が待っていて、参加者の視野は格段に広げられることでしょう。

ぜひ、大学入学を機会にボランティア活動を始めてみてください。もっとも、無理は禁物です。自分に合う活動を見つけてください。そうすることで、自分自身を見つめる良い機会となり、自分の新たな一面にも出会えるでしょう。ボランティアセンターは、いつも皆さんを応援しています。

## ボランティアセンター（通称：ボラセン）とは？

本学のボランティアセンターは、ボランティア活動を「西南よ、キリストに忠実なれ」という建学の精神の具現化並びに大学の社会貢献の一つと位置付け、学生、教職員によるボランティア活動を支援・促進しています。ボランティアセンター事務室には、職員が常駐していますので、ボランティアをすることが初めての方や迷っている方など、どなたでも気軽にボラセンへご相談ください。

【場 所】 ボランティアセンター事務室（1号館2階エレベーター横）

【連絡先】 TEL：092-823-3662 E-mail：swvoc@seinan-gu.ac.jp

【開室日】 通常期間 月～金 8：45～17：20  
（長期休暇中や行事などで閉室する場合があります）

【休室日】 土曜日、日曜日、国民の祝日、学院創立記念日、クリスマス、  
年末年始、その他大学が特に定める日

【サポート】 学内外からのボランティア情報・講演会やイベントの発信、  
ボランティア活動企画、ボランティア活動に関する相談、  
学生ボランティアサークルへのアドバイス等

### 【注力する5つの分野】

- ① 災害ボランティア
- ② 国際協力ボランティア
- ③ 教育ボランティア
- ④ 福祉ボランティア
- ⑤ 環境ボランティア



### <ボランティアセンターからメッセージ>

ボラセンのスタッフは、アドバイスするだけでなく、皆さんと一緒にボランティアや活動について、考えていきたいと思っています。まずは、いつでも気軽に訪ねてきてくださいね。皆さんとお話できるのを楽しみに待っています！

## ボランティアって、なんだろう？

高齢者や障がい者、困っている人の手助け？善意あるお手伝い？どれも大事なことだけど、専門知識もないし、何かすごいことのように、想像すればするほど、難しそう・・・そう思っている人は多いのではないのでしょうか。

それでは、今までにこんな経験はありませんか？

バスや電車の中で自分の席の前にお年寄りが・・・

『席をゆずろうかな、遠慮されたらどうしよう』とソワソワした経験。

荷物を沢山抱えた人がドアの前で困っている・・・

『扉を開けてあげよう！』と駆け出した経験。

“ほっとけない” “あの人の為に何かしたい・・・” そんな、くすぐったいような、もどかしいような、モヤモヤした感覚。それこそが、ボランティアの種。皆さんの心にそっと芽生える“ボランティアの種”を大事にして、勇気を出して一歩前へ踏み出してみましょう。“誰かのために”歩みだしたことが、結局は“自分にも何か与えられている”その2つが同時に起こる素敵なことが「ボランティア」なのです。

### <ボランティア活動の4つの原則>

#### 自発性・自主性 ～「やりたい！」想いとはじめの一歩を大切に～

自分の“やりたい！”想いを形にして始める活動であり、他人からの強制や義務で行う活動ではありません。決めるのは自分自身なので、積極的に行動できます。

#### 先駆性・開拓性・創造性 ～アイデアから、より良い地域や社会を創ろう～

今、目の前にある必要なことに、すぐ手を差し伸べ取り組むことができます。今ある仕組みや発想にとらわれず、何が必要とされているのかを考えて、新しく創り出し、新しい仕組みやサービスを生み出すことができる活動です。

#### 無償性・無給性・非営利性 ～お金では買えない目に見えない心の財産～

お金では得ることができない達成感や感動、仲間との共感、新たな出会い、気づきを得ることができます。個人的な利益や金銭的な報酬を期待する活動ではありません。

(ただし、交通費や食費、材料費などの実費弁償は、有償とはみなしません)

#### 社会性・公益性・連帯性 ～みんなのために、みんなで支え合おう～

一人ひとりの人間を大切に、誰もが生き生きと豊かに暮らせる社会を目指します。社会にある様々な課題を多くの人と協力しあい、共に課題を解決する活動です。

## ボランティア活動の心構え

### 1. 無理せず、背伸びせず、楽しく継続

普段の暮らしや学業に支障が出る活動は、長続きしません。自分の出来ることだけでなく、出来ないことについても活動先には伝え、自分に合った活動を選びボランティア活動を楽しみましょう。

### 2. 最低限のマナーを守る

小さなことでも、活動先との約束は必ず守りましょう。特に時間厳守を意識し、遅刻や欠席の場合は、必ず各自で責任をもって活動先に連絡してください。突然連絡が途絶えると、活動先は困ります。最後まで「西南学院大学の学生」である自覚をもって、行動しましょう。

### 3. 身だしなみの確認

申込みの際、活動中の服装についても事前に確認し、特に必要以上のアクセサリは外して活動しましょう。活動前にもう一度、自分の身だしなみをチェックするよう心がけましょう。

### 4. 秘密厳守（個人情報）

活動を通して知った個人情報は口外してはいけません。反対に、自分の連絡先（LINEやSNS含む）も活動先の担当者以外に、安易に教えないようにしましょう。また、許可なく写真を撮ることは控えてください。

### 5. お互い気持ちよく、信頼関係を築こう

様々な思いの人たちが、いろいろな役割で関わっています。相手を尊重し、協力しながら、コミュニケーションを深め、信頼関係を築いていきましょう。

## ボランティア活動の探し方

ボランティア活動に興味はあるけど、なにから始めてよいかわからない…  
そんな時は次の4つの方法でボランティアの情報収集をしてみましょう！

### ① ボランティア登録

QRコードから「ボランティア登録」を行うと、  
学内外のボランティア新着情報がメール配信で届きます。  
詳細やこれまでの募集内容は Moodle のマイコース

「ボランティアセンター」から確認できます。

登録料などの費用は一切かかりませんので、  
気軽にご登録ください。約1,500名の学生が  
登録している人気のツールです。

※ボラセンのHPからも登録できます。



### ② SAINS ポータル

SAINS ポータルの<①お知らせ欄>にボランティアの新着情報を  
順次掲載しています。ポータル掲載から日時が経過すると、画面の  
下の方に移動してしまいますので、こまめにチェックしてくださいね。

(ポータル掲載例)





### ③ 学内掲示板

学内各所に設置されている掲示板にボランティアに関する案内チラシを掲示しています。現在募集している活動を一目で確認できます。



### ④ ボランティアセンター窓口

ボランティアを始める前に不安なこと、相談したいことがあれば気軽にボランティアセンターにお越しください。どんな活動ができるか一緒に考えてみましょう。



## ボランティア活動保険について

### 【ボランティア活動保険】

活動中や行き帰りのケガや事故、また活動先で他人や器物に損害を与えたときに賠償責任を補償するのが「ボランティア活動保険」です。いざというときの備えとして、安心して活動ができるよう、事前に参加してください。

※350円～500円の掛け金で、万が一のケガや事故を補償してくれます。  
(加入日の翌日から当該年度の3月31日まで有効)

加入申込の手続き▶▶▶ 各市区町村の社会福祉協議会



### ～社会福祉協議会（社協）のご案内～

すべての市民が安心して生活できる福祉のまちづくりを目指しながら、社会福祉事業の企画・実施・ボランティア活動の推進、福祉関係者の連絡調整等を行う団体です。全国、都道府県、政令指定都市、市区町村にそれぞれ設置されています。



#### ♡ 大学最寄りの社協 ♡

社会福祉法人  
福岡市早良区社会福祉協議会  
早良区ボランティアセンター

〒814-0006  
福岡市早良区百道1丁目1-1 UMIBE BLD.1階  
TEL:092-832-7383 FAX:092-832-7382



#### ♡ その他 ♡

社会福祉法人  
福岡市社会福祉協議会ボランティアセンター

〒810-0062  
福岡市中央区荒戸3丁目3-39  
福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)2階  
TEL:092-713-0777 FAX:092-713-0778

社会福祉法人  
福岡県社会福祉協議会

〒816-0804  
春日市原町3丁目1-7  
福岡県総合福祉センター(クローバープラザ内)  
TEL:092-584-3377 FAX:092-584-3369・3381

## 外部団体との連携協定

西南学院(大学)は外部の団体とも協定を締結し、本学の学生が地域社会や国際社会に貢献できる機会を創出しています。

### 【福岡市災害ボランティアセンター設置に関する協定】

#### (協定団体)

福岡市、社会福祉法人福岡市社会福祉協議会、学校法人西南学院

#### (協定内容)

大規模災害発生時には、全国から集まるボランティアがスムーズに被災地に入れるように、その受付・集合場所などの活動拠点である「災害ボランティアセンター」が設置されます。

福岡市近郊で大規模災害が発生した場合、本学がこの設置候補地となること、また希望する学生は災害ボランティアセンターの運営支援に補助として参画・協力することができることとなっています。



### 【日本国際飢餓対策機構との包括的連携協定】

#### (協定団体)

一般財団法人日本国際飢餓対策機構、西南学院大学

#### (協定内容)

本学では、日本国際飢餓対策機構の協力のもと、2003年よりフィリピンの貧困地域において海外ボランティア・ワークキャンプを毎年実施しています(p.13参照)。今後も長期にわたって安定的な協力関係を構築し、広範な分野で連携・協力すること、地域及び国際社会に貢献する学生、人材を育成することを目的として協定を締結しています。協定に基づき、本学での講演会、出前授業、海外におけるフィールドワーク支援、インターンシップなど、様々な分野での連携を目指しています。



## 主なボランティア活動の紹介

### ① 災害ボランティア

災害大国、日本に住む私たちは、毎年のように自然災害の脅威を目の当たりにしています。私たちにできることは限られていますが、被災された方の気持ちに心を寄せつつ、勇気を出して支援の一步を踏み出してみませんか？

#### 【2023年 7月大雨災害ボランティア】

2023年7月7日から続いた豪雨の影響によって日本各地で被害が生じ、福岡県内においても多くの地域が被災しました。

本学のボランティアセンターでは、特に被害が広範囲にわたった久留米市や、朝倉市でボランティア活動を実施しました。

久留米市では民家等で土砂かきや土のう積み、朝倉市では農業支援として水没したビニールハウスの撤去作業を行いました。



現場には、地元の方々や他大学の学生、遠く東京からボランティアに来られた方、継続的に支援をしている方もいらっしゃいました。休憩時には、被災した時の状況やボランティア活動に役立つ話等を聞かせてくださり、有意義な時間となりました。



#### ◇◇ 参加者の声 ◇◇

・今回の活動を通して、ボランティアは、ただ作業をするだけでなく、被災者の方に寄り添ったり、現地の方からその地域についての話を知ったり、参加メンバーと交流すること、出会う人々に笑顔で挨拶することも大切だと学びました。

・今回のボランティアでは、参加者のみなさんとはほぼ初対面でしたが、活動しているうちに打ち解け、協力して作業することができました。ボランティアで新しい繋がりがや発見もでき、みんなで協力して何かを成し遂げることは大切だと学びました。今後も積極的にボランティア活動に参加し、経験値を高めていきたいです。

## 【2017年 7月九州北部豪雨災害ボランティア】

2017年7月5日から6日にかけて、福岡県と大分県を中心とする九州北部で猛烈な雨が継続して降ったことから、記録的な大雨となり甚大な被害が発生しました。本学も行政や他大学、NPO団体などと連携し、学生や教職員を送り出し、現在も継続的にボランティア活動を行っています。



(被災家屋の樹木植え替え)

### 子どもの遊び場支援ボランティア（名称：プレーパーク）

九州北部豪雨の発生以降、子どもの遊び場支援を継続して行っている団体「すくすく朝倉の未来隊」主催のプレーパークにて、学生ボランティアとして、子どもたちと自然の中で一緒に遊んだり、活動の見守りを行ったりしています。

#### プレーパークとは…

子どもが「遊び」をつくる遊び場のこと。そこでは自然の素材を使ったり、水を使ったり、木に登ったり、何かを作ったり、のんびりしたり。自分の「やってみたいと思うこと」を表現していく遊び場です。のびのびと思いきり遊べる場所で、子どもたちが生きる力を育むことを支えています。



手作り遊具：ロープ式エレベーター

#### ◇◇ 参加者の声 ◇◇

元気に遊ぶ子どもたちを見て、私自身がパワーをもらいました。印象的だったのは、人見知りなのか遊ぼうとせず、ずっと椅子に座っていた男の子です。その後、しばらく時間が経過すると自ら遊び始めたのですが、それぞれの子にそれぞれのペースがあるのだということを実感しました。このプレーパークは、それぞれの個性を尊重しており、その子に対しても、優しく声を掛けたり見守ったりしながら主体性を尊重していて、素敵な環境だと感じました。このように、子どもたちが主体的に遊びを展開できる場は子どもにとって大切であり、福岡市内も含めて、もっと増えるといいと思います。私も、今ある活動に参加するだけでなく、企画もしたいと感じることができた活動でした。



## 【2016年 熊本地震ボランティア】

2016年4月14日21時26分頃に、熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード6.5の地震が発生し最大震度7を観測。さらに、4月16日1時25分頃には、同じく熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード7.3の地震が発生し、この地震でも最大震度7が観測されました。本学からも熊本に学生や教職員を送り出し、ボランティア活動を行いました。

### 【2019年度実施】

九州キリスト災害支援センターのご協力のもと、益城町の仮設住宅で活動。熊本地震の現状を学び、仮設住宅の方々との傾聴交流や学習支援ボランティアを行いました。



(仮設住宅の子どもたちとカード遊び)



(仮設住宅の方々とフォトフレーム作り)

## 【2011年 東日本大震災ボランティア】

本学では2011年から10年間で延べ641名が東北での被災地支援に取り組んできました。



## ② 国際協力ボランティア

### 【海外ボランティア・ワークキャンプ】

2003年からフィリピンの貧困地域でボランティア・ワークキャンプを実施しています。貧困と闘いながらも懸命に生きる現地の方々や支援団体との交流を通して、一人ひとりが社会的な課題を自分事として捉えて、行動を起こすきっかけになっています。

活動期間：2月～3月（7～11日間）

活動場所：フィリピンマニラ郊外の貧困地域

主な活動：小学校訪問、校舎修理やペンキ塗りなどのワーク、  
役所への表敬訪問、子どもたちへの衛生教育  
フィリピンの家庭一日体験など

（※活動内容は毎年変更しています）

募集方法：ポータルにて案内（説明会有）

参加人数：15名

協力団体：日本国際飢餓対策機構、Food for the Hungry Philippines



### ◆◆ 参加者の声 ◆◆

蛇口からきれいな水が出てくること、温かい水でお風呂に入れること、このような当たり前が少し離れたところでは非日常であることを目で見えて体験したことで、今いる環境のありがたさを痛感しました。そして、お金＝幸せとは限らないこと。これはフィリピンの人たちと接するたびに感じました。現地の人はコミュニケーションを大切に、毎日毎日心から笑っていました。ある程度のお金は必要ですが、それ以上に「毎日を楽しむこと」の大切さを学びました。この体験を思い出しながら、周りの人を大切に、そして1日を大切に過ごしたいと思います。

## 【海外ボランティア支援(外部団体主催プログラム)】

夏季休暇中に海外ボランティアに参加する学生に補助金を支給しています。過去には、モンゴル、マレーシア、カンボジア、インドネシア、ネパール、中国、フィリピンなどで学生たちが活動しています。



### ◇◇ 参加者の声 ◇◇

(主な活動：芋掘り、ゲルの掃除や修理、孤児院の子どもたちとの交流等)

< モンゴルでの出会い >

福岡空港でコーヒーを一杯買うと店員さんに、「どちらに行かれるんですか?」と聞かれたので、「これからモンゴルでボランティアするんです。」と私は返した。すると、店員さんはすごく驚いて、「モンゴルっていうワードも、海外でボランティアっていうのも初めて聞いた。いいな!楽しんで!」といっぱいの笑顔を返してくれ、これからの旅にわくわくしていっぱいになり、ワークキャンプはスタートした。飛行機の中、ウランバートル空港を見下ろすと、教科書で見たことのあるもの以上の見渡す限りの草原、そして、ゲル。想像をはるかに超えるお出迎えだった。海外に行く、飛行機に乗っただけで、言葉も人種も生活も気候も全く違う世界に転送されてしまう、この不思議な感覚にいつも胸が躍る。

360度すべてを草原に囲まれ、隣のゲルに住むオールドバーターが羊とヤギと牛をたくさん飼っていて、朝と夕に当たり前に乳しぼりをしていて、草原と牛のうんちのにおいとミルクのにおいが立ち込める、そんな場所で私たちは、生活をした。きっと今も牛たちの見張りをバーターはしているのだろう。モンゴルで初めて出会った仲間たちと、寝て、ご飯を作って、芋を掘り、星を見て、ゲルに泊まって、ラクダに乗って、たくさんの経験を共にし、とても仲良くなることができた。ここ最近、なんだか自身に停滞感を感じていた中、勇気を出して決めた海外ボランティア。仲間の中には、ボランティアしながら世界を一周している人や、仕事を辞めて国から国へ転々としながら旅をしている人など、型にはまらず人生を謳歌している姿に、日々刺激を受けた。その中でも、私が一番印象に残ったエピソードは、ボランティアをしにやってきた私たちをずっとお世話してくれたモンゴル人のアヌカとの出会いだ。アヌカは、韓国語の通訳の仕事をしながら、英語も喋れて、日本語も勉強中で少し話すことができる、モンゴル人。彼女はとても働き者で、勤勉で、シャイで、優しい。私はアヌカと、モンゴル語を教わったり、日本語を教えたりして毎日たくさんおしゃべりをした。そして、私はあるとき、そんなアヌカを見ていて、なんとなく疑問に思ったので、「アヌカはどうして、そんなに働き者で、勉強家なの?」聞いたのだが、このアヌカの回答に私は大きく影響を受けた。アヌカはこの質問に、ちょっと考えて、「だって人間だもん。」といったのだ。私はこれを聞き、もっと頑張らなきゃと素直に思えたのだ。日本に帰り後期が始まった今、もっと上手に英語をしゃべれるようになりたいと思い、私は勉強を頑張っている。



## 【国際協力ボランティア『NGO合同説明会』】

特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク (FUNN) と本学ボランティアセンター共催による『NGO合同説明会』を開催しています。国際協力に興味のある学生が毎年たくさん参加しています。NGOとは、といった基本的なことから、各NGO団体の活動紹介、スタディツアーやワークキャンプ事情を聞くことができます。個別相談会では、学生が興味のある団体のブースに行き、熱心に話を聞いたり、質問したりする姿が見られます。国際交流や海外ボランティアに興味のある方には、ぜひ参加いただきたいイベントです。

### 《近年の参加団体》（敬称略、順不同）

- ・独立行政法人国際協力機構九州センター（JICA 九州）
- ・NPO 法人トウマンハティふくおか
- ・特定非営利活動法人 ISAPH
- ・フレンズ国際ワークキャンプ九州 (FIWC 九州)
- ・特定非営利活動法人バングラデシュと手をつなぐ会
- ・認定 NPO 法人 難民を助ける会
- ・特定非営利活動法人 NICE
- ・認定 NPO 法人 地球市民の会
- ・特定非営利活動法人 NGO 福岡ネットワーク (FUNN)
- ・福岡 YMCA



### ◇◇ 参加者の声 ◇◇

ボランティアは、災害地や発展途上国で行うイメージが強くありましたが、FIWCのお話を聞いて福岡県内や、大分などの町おこしでも行われていることを知りました。町おこしは今まで聞き馴染みがなく、今回のフォーラムでこの活動を知りました。個別相談会で詳しく聞いたところ、ボランティアのメンバーのアイデアや提案を実施したり、今行っている活動をより良いものにしたたりすることを知りました。自分のアイデアを実行できる可能性があることは、とっても魅力的に感じます。海外ボランティア（JICA）に関しても、組織の構図や、政府からの支援など新しい知識を得られるとても良い機会になりました。これからは、実際にボランティアに関わっていきたいと思っています。

## 【IDAY スタディツアー in JICA 九州】

[2022年度実施]

国際協力に関心のある学生約30名が北九州市八幡にあるJICA九州（独立行政法人国際協力機構）を訪れ、IDAYスタディツアーを実施しました。（JICA九州は九州における国際協力の窓口として、様々な情報を発信しています。）そこでは、JICA九州の事業概要やJICA海外協力隊経験者からの体験談を聞き、多文化共生に関するワークショップを実施。学生同士の交流も楽しみながら、JICAについてより深く知ることのできた貴重な時間となりました。



### ◆◆ 参加者の声 ◆◆

私は自分の将来について考える中で、何か得るものがあるのではないかと思います、今回参加を決めました。実際に「日本と海外をつなぐ仕事」をされてきた JICA 職員の方のお話を聞いて、仕事の幅広さを知り、自身の途上国に対する無知さを実感しました。特に印象に残った言葉として、「Think globally, Act locally」があります。これは、地球規模で物事を考え、身の回りのことから行動するという意味です。まずは、自分にできる小さな国際協力を実現していきたいと思えます。



## 【アメリカ・ベイラー大学との交流】

### [2023年度実施]

#### 貧困プロジェクト

2024年3月、本学の国際交流協定校であるアメリカ・ベイラー大学の学生が来日して、本学の学生と交流ボランティアを実施しました。この交流ボランティアは、先進国における貧困問題やそれを支える社会制度について、多角的な視点から学んでいくことをテーマとしています。活動中は、行政（福岡市）や民間団体（子ども食堂、フードバンク、ホームレス支援）の立場からどのような支援を行っているのか説明を受け、子どもたちとの交流やホームレス支援活動等を通して、貧困問題に関する理解を深めました。

### [2021年度～2022年度実施]

#### 平和プロジェクト

ベイラー大学において開講された「平和について考える」という授業でアメリカの学生と協働する国際交流ボランティアを実施しました。ベイラー大学の学生とのオンラインミーティング、日米両国の戦争体験者への取材、インタビュー映像を制作するというものです。5名が参加し、戦争や平和について考える貴重な機会となりました。

また、2022年度のチャペルアワーにおいて、2名の代表者がそこで得られた経験を振り返り、報告しました。



**国際交流ボランティア募集**

ベイラー大学の授業(平和について考える)でアメリカ人学生と協働して戦争体験者へのインタビュープロジェクトを行うボランティアです。

- 主な内容>
  1. 映画鑑賞(「火垂るの墓」・「日本のいちばん長い日」)
  2. 戦争体験者へのインタビュー内容の検討(翻訳含む)
  3. ベイラー大学の学生とオンラインミーティング
  4. 戦争体験者へのインタビュー(録音)
  5. インタビュービデオの制作(編集)

<活動期間>  
2022年2月～4月末頃(目途)

<申込条件(すべて必須)>  
・身近な親戚や知り合いに戦争体験者がいること



### ③ 教育ボランティア

#### 【学生サポーター】

各市区町村の教育委員会と連携し、各学校の要望に応じて活動するプログラムで、活動する学生を“学生サポーター”と呼んでいます。学生サポーターは、活動先の各学校において主に、授業や学校行事、クラブ活動の支援をしています。社会人としての経験に加え、教育現場で児童生徒と直接接することで教育活動を体験できる良い機会となっています。教員志望ではない学生も参加できます。近年は年間80名前後の学生が活動しています。

※年2回（4月、9月）の募集に加え、年間を通して相談に応じています。



（休み時間の見守り）



（海外からの子への支援）

#### ◇◇ 参加者の声 ◇◇

今回初めて学生サポーターとして、小学校でボランティアをさせてもらい、現場でしか味わうことのできない教員の大変さや楽しさを学び、子どもたちと実際に関わることで自分自身の実力を確かめることができました。初めは、知識もなく経験もない中で活動するのはとても不安で、わからないことだらけでしたが、学校の先生方や子どもたちは親切な人が多く、抱えているマイナスなものを吹き飛ばしてくれました。私は、6年生と特別支援学級の子どもの補助に入りました。授業の内容がわからない子や、問題が解けずに困っている子は教室の後ろから顔を見なくても動作で感じとることができました。教えてあげると笑顔でありがとうございますと返してくれて、やりがいを感じ、嬉しくなりました。教育実習前の良い経験を積むことができました。

## 【野芥校区学習支援ボランティア】

野芥公民館にて、毎月、小学生を対象とした子ども食堂「つくって食べよう土曜昼!」が実施されています。そこでは、学生が調理・学習支援ボランティアとして参加し、子どもたちと一緒に昼食を作って食べたり、食後に開催される学習会で宿題や勉強を教えたりしながら楽しく活動しています。



### ◇◇ 参加者の声 ◇◇

今回のボランティアに参加して地域で子供を見守ることの大切さを感じました。地域ボランティアの方が子供一人一人の名前だけでなく、家庭の事情なども把握していたことが特に印象的で、地域全体で子供の成長を見守っているように感じました。子供の様子の変化に早く気づき、一人で悩みを抱えこんでしまう子供を減らすようにするためにも、地域全体で子供を見守ることは大事だと考えさせられました。地域のつながりの良さを実感できた貴重な機会でした。これからもこのような活動があれば積極的に参加したいと思います。

## 【西南学院小学校ネイバーピクニックボランティア】

糸島で行われる西南学院小学校の食育プログラムのお手伝いをしています。春の田植え、秋の稲刈りを子どもたちと一緒に楽しみながら活動しています。



## ④ 福祉ボランティア

### 【「ゼロからはじめる」障がい者支援講座】

特定非営利活動法人障がい者相互支援センターMCPから講師をお招きし、障がい者支援講座を毎年開催しています。障がいとは何かという基礎知識から簡単な手話での自己紹介や挨拶、音声認識アプリ（UDトーク）やノートテイクの支援体験など、聴覚障がい者へのサポートについて楽しく実践的に学んでいます。ボランティア団体「手話サークルとびうめ」（p.33）のメンバーもサポート役で活躍しています。



#### 《実施内容例》

#### ◆ 障がい理解～主に聴覚障がいに関して～

障がいとは何か / 聞こえない体験 / 大学生活における障がい学生の生活 / 情報保障とは何か  
私たちができることは何か

#### ◆ はじめての手話

手話の基礎 / あいさつ / 自己紹介（名前の表現、指文字） / 指文字しりとりゲーム  
数を使った表現 / 趣味紹介をしてみよう / 手話伝言ゲーム / 大学や学部の紹介 / 手話歌をしよう

#### ◆ 音声認識アプリ（UDトーク）

音声認識アプリの活用方法 / UD トークを使ったグループトーク / UD トークでの支援方法

#### ◆ ノートテイク

筆談をしてみよう / ノートテイクとは / 主テイクの練習 / ペアで練習してみよう  
サブテイクをしてみよう / ペアで交代してみよう / 模擬授業での支援体験

#### ◆ ポイントテイク

聴覚障がい以外の支援について知ろう / ポイントテイクの体験をしてみよう  
支援のルールとマナーについて

#### 情報保障とは…

場を共有するすべての人が、同質、同量の情報を得て、その場に  
参加できるようにするための活  
動。すべての音情報を聞き取り、  
手話や文字で、聴覚障害者に伝  
えること。

〈例〉 手話通訳、要約筆記、ノートテイク、  
PCテイク、音声認識ツール等







### ノートテイクとは・・・

ノートテイクとは、授業中に先生が話す内容やその場の音情報を、リアルタイムで、すべて文字にして伝える文字通訳のことです。

伝える方法には、手書きやパソコン入力などがあります。

### 音声認識アプリとは・・・

UDトークなどの音声認識アプリは、話した言葉をテキストに変換することができ、聴覚障がいの方もリアルタイムで話の内容を理解することができます。また、使い方次第で幅広く様々な方とのコミュニケーションに活用することもできます。



### ◇◇ 参加者の声 ◇◇

自分は将来保育士や幼稚園教諭として働く際に、いつかは聴覚障がいのある保護者や子どもに出会うことがあると考えていたので、もともと少しですが手話を勉強していました。そこで今回この講座を見つけて、自分で学ばない知識や支援の方法を知れると思い参加しました。1人での参加でしたが、先生も優しく分かりやすく、違う学部でも先輩でも楽しく話すことができましたのでよかったです。挨拶の手話も指文字も、実践して誰かと使うことによってより身に付くし、情報保障やUDトークなど、支援を知ることができて学んだ実感がありました。

## 【久山療育園との交流ボランティア】

久山療育園は西南学院大学と同じ日本バプテスト連盟の関連施設で、重度の知的・身体障がい者を重複する障がい者に対して、医療・看護・機能訓練・保育などを行っています。重症心身障がい者が社会の片隅に収容されて生きるのではなく、むしろ地域の中心に位置づけられることを願って設立された施設です。本学では、定期的に交流し、ボランティアやスタディツアー、チャリティイベントなどを開催しています。

### 【2019年度実施】

#### 開園祭ボランティア

学生・職員43名がボランティアとして参加し、利用者の方々の介助補助や商品バザー、食堂バザー、駐車場誘導に分かれて活動しました。



#### ◇◇ 参加者の声 ◇◇

私は今回で2回目となるボランティア活動への参加でした。担当した場所は、久山療育園利用者の方との触れ合いコーナーです。利用者の方だけでなく、ご家族のみなさんやスタッフの方など多くの方との触れ合いを通して、人の役に立つことの喜びや大切さを学ぶことができました。利用者の方達の笑顔を見ることができ私自身も嬉しくなり、とてもいい経験になりました。

### 【2021年度実施】

ボランティアセンター学生スタッフOPENとの交流  
新型コロナウイルス感染症の影響により対面での交流が難しいため、オンラインで交流会を実施。  
OPEN(p.30~31)が利用者の方へ想いを込めてクリスマスポスターを作成し、施設に贈りました。



#### ◇◇ 参加者の声 ◇◇

久山療育園の方々とは、約2年ぶりに交流させていただきました。コロナ禍のためオンラインでの交流でしたが、利用者の方とお互いに自己紹介したり、近況を報告し合うなど、久山療育園の職員さんにサポートしていただきながら、楽しく交流ができました。利用者さんが私たちと交流するために自己紹介等を練習してくれたということを知り、とても嬉しく思いました。オンラインで表情や場の雰囲気も見えづらい状況でしたが、その分ゆっくり大きな声でお話しするなどの配慮の大切さも実感しました。次は対面でお会いしたいです。



## ⑤ 環境ボランティア

今すぐ始められ、身近なところから自分のできることを無理なく楽しくマイペースにお手伝いできる「ちょこっとボランティア(通称:ちょこボラ)」をご紹介します。

### (1) お弁当容器のリサイクル(→災害支援へ)

お弁当容器を回収ボックスに入れて、被災地に災害支援金を届けよう！お弁当容器(リリパック)回収による払戻金が被災地へ送る災害支援金になります。お弁当を食べ終わったら、表面のフィルムをはがし、白い本体のみを回収ボックスへ！割れても大丈夫です。

弁当容器1個あたり10円が災害支援金として募金されます。

※生協、クロスプラザで販売されているお弁当のみ

#### 【回収ボックス設置場所】

[1号館] 2・3階エレベーターホール

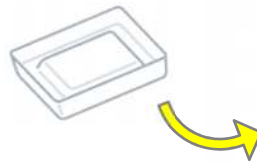
[2号館] 学生ホール、2階廊下

西南会館ラウンジ、生協食堂1階、

図書館1階ライブラリーカフェ、

学術研究所1階ロビー、

コミュニケーションプラザ1階



### (2) 寄付本★プロジェクト(→奨学基金へ)

自宅で眠っている不要本を寄付して、奨学基金へつなげよう！

不要となった古本回収による買取金額が、本学の奨学基金になります。

業者の回収は、原則、第1火曜日です。

#### 【対象となるもの】

専門書~趣味の本までOK、書込みされた本もOK、CD・DVD・ゲームソフト

#### 【対象とならないもの】

(書籍) 百科事典・同人誌・新聞・個人出版の本・復刻マンガ

(CD/DVD) ケースがない・サンプル・規格品番なし



#### 【回収ボックス設置場所】

1号館2階入口、2号館1階学生ホール、学術研究所、

コミュニケーションプラザ各階ロビー



### (3) 学用品のリユース (→カンボジアの教育支援へ)

SIEC (西南国際教育協力隊) の取り組みについて

カンボジア支援プロジェクトでは、毎年3月と11月の年2回カンボジアに渡航して教育支援を行っています(p.32参照)。その活動において、日本で集めた寄付物を、渡航した際、イベントの参加賞として子どもたちに手渡ししています。

#### 【集めているもの】

文房具(新品・未使用に限る)、赤白帽子、子ども用夏服、カスタネット、ランドセル、文字がない絵本 など

#### 【回収ボックス設置場所】

ボランティアセンター前、西南会館、5号館心理学実験室前



### (4) 書き損じハガキ・未使用切手、使用済み切手回収 (→途上国・福祉活動支援へ)

書き損じハガキ、未使用切手、使用済み切手などを寄付して発展途上国や福祉の支援活動に役立てよう！

#### ①書き損じハガキ、未使用切手

日本国際飢餓対策機構に送り、海外スタッフ派遣のために使われます。

#### ②使用済み切手

封筒やハガキに貼ってある切手を、台紙ごと消印と切手を切らないようにまわりを大きめに切り取り、回収ボックスへ！  
回収後、福岡市社会福祉協議会へ持参し、さらにボランティアの方々の手で整理された切手は専門業者で換金され、車いす等の購入に充てられます。

#### 【回収ボックス設置場所】

ボランティアセンター前



消印と一緒に切り取ると  
価値が上がります！

## 学外ボランティア

ボラセンには、学外のような団体からボランティアの依頼やイベント、スタディツアーなどの案内があります。例えば、イベントスタッフ、着ぐるみのボランティア、清掃、子ども会イベント補助、学習サポーター、福祉施設でのボランティアなど、さまざまな分野の情報がたくさんあります。まずは、ボランティア登録からはじめてみましょう。(p.6参照)



下の表は一例ですが、ボランティア活動にはたくさんの種類があります！  
活動を始めるヒントにしてくださいね♪

活動分野	内 容
子ども・青少年	乳幼児施設・子ども食堂での活動、子どもキャンプ（野外活動）、遊びの見守り、チャリティーサンタ、居場所づくりなど
高齢者	福祉施設でのお手伝い、お話し相手（傾聴）、レクリエーション補助など
障がい者	施設訪問、ノートテイク、手話、点訳・音訳、レクリエーション補助など
国際協力・交流	ワークキャンプ、スタディツアー、留学生支援、日本にいる外国人への支援、翻訳、国際交流イベントのお手伝いなど
環境	海浜美化活動、街や公園の清掃活動、リサイクル活動、エコイベント企画・実施、農業支援、植樹など
教育	学生サポーター、公民館・児童館・フリースクールでの学習支援など
芸術・文化	伝統文化の継承・普及活動、美術館や博物館での活動など
災害・防災	被災地支援、がれき・土砂の撤去、家屋の片付け、物資仕分け、募金活動、傾聴交流、復興支援イベントの企画・実施、避難訓練への参加など
地域・まちづくり	村おこし・地域おこしの活動、交流の場づくり、イベント企画・運営、交通安全・防犯活動、町並み保存活動など
人権	路上生活者への支援、受刑者・元受刑者への支援、難民支援など
スポーツ	スポーツ大会、イベントの受付・運営補助、スポーツ教室での指導など

## 学内ボランティア

### 【学内ボランティア合同説明会】

学内にはボランティアセンター以外にも、ボランティア募集をしている部署があります。毎年4月に、「学内ボランティア合同説明会」を開催していますのでぜひご参加ください。(※説明会の日程等は、SAINS ポータルでお知らせ)

### <入試課>



#### 西南オープンキャンパスボランティア

毎年、2日間で約8,000人が来場し、西南学院大学の魅力を伝える重要なイベントです！延べ約200名の学生が活動しています。

活動内容：受付案内、学生生活・受験勉強相談、在学生講演会、キャンパスツアー、学部学科紹介など

場所：中央キャンパス3号館2階  
TEL：092-823-3366  
Mail：nyuushi@seinan-gu.ac.jp

### <国際センター>



#### 留学生バディ

世界30ヶ国以上から来る留学生の生活や学習面をサポートする「バディ」を募集しています。日本語が話せる留学生もいますので、語学力に関わらず、国際交流に関心がある方はぜひご応募ください。

募集時期：6月、11月頃  
場所：中央キャンパス3号館1階  
TEL：092-823-3346  
Mail：inbound@seinan-gu.ac.jp



### <大学博物館>



#### 博物館ワークショップボランティア

博物館でワークショップを行う際に、ボランティアを募集しています。詳細は、日程等が決まり次第、ボランティア登録メールや、博物館ホームページ等でお知らせいたします。

場所：大学博物館、学内等  
TEL：092-823-4785  
Mail：museum@seinan-gu.ac.jp

## <聖書植物園>



### 聖書植物園ボランティア

大学では、聖書に登場する植物を集めた「聖書植物園」を管理運営しています。

活動内容：管理維持のための草取りや観察など

活動日：毎月第3土曜日 9:00～12:00

参加方法：4号館前に9:00集合（小雨決行）

（予約・申込なし。直接お越しください。）

持ち物：軍手、帽子、タオル

問合せ先：総務課 092-823-3201

夜間・休日 092-841-1316

## <西南子どもプラザ>



### 子どもプラザボランティア

（課外活動団体による子どもプラザボランティア）

部活動・サークル・公認団体等、本学の学生団体単位でのボランティアを募集します。

活動内容：プラザ専属の学生団体 green pigeons と協力して、子どもプラザでの公演や行事への参加、行事で使用する小道具や掲示物の作成等

<これまで以下のような例があります>

- ・音楽系団体によるミニコンサート
- ・コミックカンパニーによる西南だより挿絵作成
- ・美術部によるお面や塗り絵の作成
- ・アメフト部による豆まき など

\*活動時間や場所は内容によります

\*問合せ先：学生団体 green pigeons の Instagram メッセージ

プラザ（百年館2階）内で利用者と交流するなどのボランティア活動は green pigeons のメンバーが行っています。こちらに興味がある方も Instagram へご連絡ください。







## ～プレーパーク～

- ☺ 子どもと自然の中で思いっきり遊べて、パワーをもらえる活動です！
- ☺ 自然で遊びながら存分に子供達の創造力をそばで見守れるので是非参加してみてください。
- ☺ ボランティアで、様々な交流や新しい知識が身につけられるとるので是非参加してほしいです！



## ～学生サポーター～

- ☺ 学生サポーターは自分の行きたいペースで学校に訪問させていただける貴重な機会です。
- ☺ 教職を志望している人はもちろん、そうでない人でも今の学校現場を見ることで多くの気づきがあると思うので、是非参加してください。
- ☺ 教員を目指す学生なら、とても貴重な経験になると思います。実習前に、子どもたちとの距離感や関わり方を知っておけることも、プラスに働くと思います。
- ☺ 活動をすることで自分の課題を発見することができ、これからの学びのやる気に繋がります。



## ～野芥校区学習支援～

- ☺最初は緊張するかもしれませんが、公民館の方をはじめ皆さん暖かく迎えてくれます。迷っている方は是非一度参加してみてください！
- ☺このボランティアを通して、子供たちや高齢の方との交流ができて、とても良い機会になりました！！
- ☺とりあえずやってみることが大事だと思います！最初は不安なことも多いと思いますが、やってみたら意外と大丈夫です！
- ☺主催者のみなさんは、とても優しいので、緊張せず楽しめると思います！



各ボランティア参加者から  
みなさんへのメッセージ



## ～障がい者支援講座～

- ☺今まであまり知らなかった物事を知ったり活動をしたりすることは、自分で行動を起こす・視野を広げるための第一歩になると思います。
- ☺一つのコミュニケーション手段として楽しく学べると思います。知り学ぶことで世界が広がると感じました！
- ☺すべての人が生きやすい社会になるように頑張りましょう！
- ☺手話やUDトークを通して自分が知らなかったことを知る楽しさを味わえると思います！
- ☺とてもリラックスして学ぶことができる講座です。肩の力を抜いて参加してみてください。



## —— 学生ボランティア団体（サークル）紹介 ——

本学には、たくさんの学生ボランティア団体があり、それぞれがテーマや目標を持って取り組んでいます。興味のある方は、各サークルまたはボランティアセンターまでお問い合わせください。毎年、交流会も開催しています。

### せいなんボランティア・カフェ（ボランティアサークル合同説明会）

学内の学生ボランティア団体が出展し、各団体の活動紹介や各ブースに分かれて個別説明を行います。

「どんな活動をしているのか知りたい！」

「自分に合ったボランティア団体を見つけない！」

「ボランティアしてみたいけど、何から始めたら

いいかわからない・・・」などなど、

ひとりでの参加も大歓迎ですので、お気軽にご参加ください♪



### (1) OPEN（ボランティアセンター学生スタッフ）

【活動日】1ヶ月に1回以上、ボランティア活動やイベントを行っています。

【活動場所】1号館の教室または活動室

【人数】2、3年生合わせて16人

【連絡先】InstagramのDMからご連絡ください（@seinan\_open）

私たちはボランティアセンター学生スタッフ **OPEN** です！

**O**…Opportunity ボランティアの紹介を通じて出会いの“機会”を！

**P**…Peace ボランティアを通して“安らぎ”をみんなの心に！

**E**…Enjoy 西南生が“エンジョイ”できる場作りをお手伝い！

**N**…Network 人が“つながる”場所を作ります！

主な活動：学内外のボランティアへの参加・運営・企画・広報

（例）公民館お手伝い、浜辺の清掃、福祉施設との交流会、  
上記「せいなんボランティア・カフェ」の  
企画・運営にも、OPEN が関わっています。

ボランティアの企画・運営に興味がある人、

ボランティア仲間が欲しい人、

他サークルと掛け持ちOK!!

見学お待ちしております！





## ～ 学生スタッフ OPEN の活動 ～

ボランティアセンター学生スタッフとして、楽しみながら、学内のボランティア団体の行事(左頁の「せいなんボランティア・カフェ」など)を企画・運営したり、ジャンルを問わず、例えば以下のような、学内外のボランティアへの参加・運営・企画・広報などを行っています。

### ◇清掃活動

福岡市主催の「ラブアース・クリーンアップ2023」に参加し、百道浜に落ちているゴミを拾うボランティアを行いました。海藻の下に入り込んでいるゴミやマイクロプラスチックなど様々なゴミを拾い百道浜をきれいにすることができました。



### ◇地域との連携

百道浜公民館主催「\*はまっ子くらぶ」に毎月第2・第4土曜日に出向いて、校区の子どもたちの折り紙や鬼ごっこなどの遊びをサポートしました。また、2023年11月には公民館の文化祭にOPENも出店させていただきました！何を出店するか計画段階から決めることができたので、今回は、お菓子のつかみ取りを実施しました。子どもたちがとても喜んでいて、自分たちも楽しい経験ができました！

\*はまっ子くらぶとは・・・

子ども達の笑顔が輝く第3の居場所づくりを目指した取り組みです



### ◇ゆたかカレッジ福岡キャンパスとの交流

自立訓練・就労移行支援・生活介護施設の利用者の方々と3年ぶりに対面で交流しました。お互いに自己紹介をしたり、大学生活の話をしたりと、短い時間でしたが、久しぶりの対面での交流に終始笑顔が見られました。

### ◇久山療育園との交流 (p.22)

久山療育園の方々へクリスマスポスターを作成し、贈りました。また、オンラインで交流会を実施し、自己紹介をしたり、大学の授業や趣味のお話などをして、楽しい時間を過ごしました。



## (2) ワークキャンプ部

【活動日】水曜日【活動場所】西南会館5階・西南学院大学教室・福岡市民福祉プラザ

【連絡先】InstagramのDMからご連絡ください (@workc.amp)

ワークキャンプ部は、西南学院大学、九州産業大学合同の福祉系ボランティアサークルです。部内で5つのグループに分かれて、異なる施設を訪問し、子どもたちや高齢者の方々と交流しています。コロナ禍では訪問に制限があるグループもありましたが、動画作品の作成やものづくりを行いコロナ禍ならではの活動を行いました。また地域のイベントのボランティアなども行っています。たくさんの人との出会いや貴重な体験が皆さんを待ってます。ぜひ私たちと一緒に活動して楽しい大学生活を送りませんか？連絡を待ってます！！

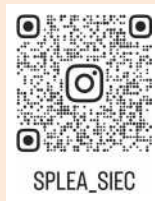


## (3) SIEC (西南国際教育協力隊)

【活動日】毎週水曜日【活動場所】西南会館10号会議室・図書館グループ学習室

【連絡先】InstagramのDMからご連絡ください (@ splea\_siec)

私たち SIEC (西南国際教育協力隊) は、他大学と共同で「すべての子どもたちに行き届いた教育を届けるプロジェクト」として、カンボジアとラオス (ラオスは3月のみ) に渡航し、教育支援を行っています。具体的には、運動会の開催や理科・体育・音楽・図画工作などの授業、物資の寄付などを行っています。2022年度は2月にカンボジアに渡航することができました。また国内での活動として学内や近隣の小・中学校、自分たちの母校に寄付物 (赤白帽子、ノート、筆記用具、楽器など) を募っています。各々が他のボランティア活動に参加したい時には情報共有を行い参加できるメンバーで参加したり、支援とは何かを考えながら日々活動しています。



## (4) Think & Act

【活動日】 隔週木曜日 【活動場所】 代表者にお問合せください

【連絡先】 InstagramのDMからご連絡ください (@think\_and\_act)

Think&Actは国際協力、国際交流、国内ボランティアなどを行う学生団体です。国際協力としては、例年夏季休暇を利用し、海外ワークキャンプに参加しています。今まではインドネシアやモンゴル、ネパールへ行き大学時代にしかできないであろう貴重な体験を多くしました。国内の活動では、福岡マラソンの運営サポートや、九州北部豪雨被災地ボランティアなど様々な活動に参加しています。毎週の活動では、例年クリスマスパーティなどの季節に合わせた活動をしており、2023年度は姪浜でのBBQなどを企画をし、仲を深めました。雰囲気としてはとてもアットホームなサークルです！気になる方は気軽にご連絡ください！

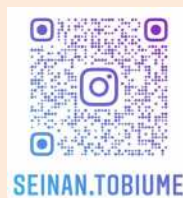


## (5) 手話サークル とびうめ

【活動日】 毎週水曜日 4時限目 【活動場所】 1号館の教室

【連絡先】 InstagramのDMからご連絡ください (@seinan.tobiume)

私たちは、毎週水曜4限の時間に西南学院大学1号館で指導者の下、手話やろうあ者の生活・文化などを学んでいます。指導者の方が不在の際は、手話を使ったゲームをして楽しみながら手話を学んでいます。最初は難しいと思われるかもしれませんが、アットホームな雰囲気を楽しみながら手話を学ぶことができるサークルです。また、手話検定にも積極的にチャレンジしています。さらに今後の活動では他大学の手話サークルさんとの交流やイベントなどへ参加し、当事者の方と交流したいと考えています。手話に興味のある方、参加を考えている方、ご連絡をお待ちしております。



## (6) のびっこの会

【活動日】第2・第4土曜日の午後 【活動場所】5号館

【連絡先】InstagramのDMからご連絡ください (@nobikko\_seinan)

軽度の障害をもった子どもたちやその兄弟児と一緒に遊ぶサークルです！

2008年度に国際ソロプチミスト福岡—中央よりシグマソサエティとして承認されました。現在は約15名の学生が在籍し、約12名の子どもたちと交流しています。活動は工作や芋ほり、冬にはクリスマス会を行っています。2020年度から中止していた校外学習やお菓子作りが2023年度に4年ぶりに再開し、2024年度には夏のキャンプが5年ぶりに再開するなど従来の活動ができるようになりました！活動内容の決定や準備などは学生たちで行っており、週1回昼休みに集まって話し合いをしています。活動を通して様々な経験を積むことができ、子どもたちから多くの笑顔とパワーをもらい楽しい思い出をつくることができます♪

興味のある方はぜひ  
ご連絡ください！  
お待ちしております



## (7) Pao

【活動日】第2または第3土曜日（不定期）、毎月1回程度の話し合い

【活動場所】近隣の放課後等デイサービス、大学

【連絡先】InstagramのDMからご連絡ください (@seinan\_pao\_2021)

私たちPaolは主に発達障がいがある子どもたちと交流する学生主体のボランティアサークルです。活動内容は、近隣の放課後等デイサービスに協力していただき、季節にあわせたイベントや工作などをとおして、子どもたちと交流活動を行っています。“子どもたちの居場所づくり”をモットーに、2023年はクッキングや、クリスマス会を行いました。また、児童発達支援センターゆうゆうセンターの方に年に1～2回の学習会を開いていただき、障がいについての理解を深めています。

Paolの最大の魅力は、学生が  
みんなで企画を主体的に考え、  
活動できることです。

興味がある方はぜひ一度活動に  
参加してみてください！  
連絡をお待ちしています！



## 活動室使用・物品借用について

サークル活動や行事開催準備のために、ボランティアセンター事務室横の活動室および印刷機・紙折機・裁断機、机・椅子などの備品の使用を認めています。詳しくは、下記内容をご確認ください。

### ■使用できる団体

学生課でボランティアを目的とした課外活動団体として公式に登録し、ボラセンが許可した団体（現在、左記7団体）

※団体設立に向けて検討中の場合は学生課に相談すること

### <使用手続き>

#### ◎活動室

ボラセンに所定の「活動室使用願」を提出する。（使用3日前まで）

（利用時間）月～金 9:00～17:20

※17:20以降の利用希望の場合は、ご相談ください

#### ◎印刷機（モノクロ印刷のみ）

用紙については、各自で準備すること。

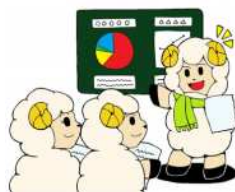
※利用の際は学生証の提示が必要

#### ◎紙折機・裁断機

使用前後に、ボラセンスタッフに団体名を告げる。

#### ◎机・椅子などの備品

ボラセンに所定の「物品借用書」を提出する。（使用3日前まで）



（活動室の様子）





# ボランティアに参加したら ポートフォリオに 記録しよう！



活動で得た貴重な経験や感じたことを記録して、  
就活中などに読み返すことができます！

簡単3ステップ

入力方法

自身の振り返りのために！

① SAINSポートフォリオにログイン

QRコードからも

<https://sepf.seinan-gu.ac.jp/login/>



② 「課外活動」 → 「ボランティアの登録」 → 「登録」 を選択

③ 「参加年月」 → 「ボランティア名」 → 「感想」 を入力で完了！



**SEINAN**  
GAKUIN UNIVERSITY

## 西南学院大学 ボランティアガイドブック2024

---

発行/西南学院大学ボランティアセンター事務室  
(中央キャンパス1号館2階エレベーター横)

電話/092-823-3662

メール/swvoc@seinan-gu.ac.jp

